

東京都からの今夏の節電対策のお願い

東日本大震災の影響により、今夏は前例のない電力不足が予想されております。節電対策については、国や業界団体等から様々な取組メニューが提示されているところがございます。東京都では、その中でも最も取り組みやすく、かつ啓発効果も期待できる“照明の間引き対策”について、特に踏み込んだ丁寧な説明をしております。事業者の皆様には、今まで以上に省エネ対策を推進していただくとともに、「一步踏み込んだ節電対策」を実施していただきますよう、お願い申し上げます。

一步踏み込んだ節電対策 (～昨夏比 15%削減に向けて～)

【照明の間引き対策】

- ・ **室内空間(オフィス、店内等)** ⇒目標 1 / 2 以上の消灯
- ・ **共用部(看板、エントランス等)** ⇒目標 1 / 2 以上の消灯

【空調の対策】

- ・ **温度設定の管理を徹底** ⇒目標室温 28度
(猛暑日も温度設定を維持)
- ・ **空調時のドア閉めの徹底** ⇒冷気の漏えい防止
(常時開放した営業の防止)

※ 次頁(裏面)もご覧下さい。

【その他の対策】

- ・ **事業所の特性に応じた節電対策を追求して実施**
(国・業界団体等が示す節電対策メニューも参考)

なお、今年度の『地球温暖化対策報告書』の御提出におきましては、上記に加えて、以下の2点にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

平成23年度『地球温暖化対策報告書』提出に関するお願い

① “節電対策の記入”のお願い

⇒ **今夏に実施する節電対策を特記事項欄にご記入下さい。**

※事業者様としての節電対策 → 「地球温暖化対策報告書その1」特記事項欄

※事業所ごとの節電対策 → 「地球温暖化対策報告書その2」特記事項欄

② “早期提出”のお願い

⇒ **出来る限り、7月までの御提出をお願い致します。**

<東京都の「一歩踏み込んだ節電対策」実施チェックリスト>

事業者の皆様におかれましては、照明の間引き対策の実施を通じて、日頃の室内空間の明るさ（照度）を見直すなど、今夏の節電対策を電気の使い方そのものを考え直す良い機会としていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

下表は、「一歩踏み込んだ節電対策」の実施チェックリストです。ご活用下さい。

照明の間引き対策の実施方法		チェック欄
ステップ1		
スイッチによる照明の消灯実施	窓際照明の消灯実施	<input type="checkbox"/>
	室内全体のバランスの良い消灯を実施	<input type="checkbox"/>
	各スイッチの点灯範囲を明示（掲示）	<input type="checkbox"/>
	常時消灯するスイッチの操作禁止措置	<input type="checkbox"/>
ステップ2		
蛍光灯の間引き実施 テナントの場合は、ビルオーナー又は管理会社に相談	非常用照明器具確認（間引き不可）	<input type="checkbox"/>
	蛍光灯器具の種類確認 （グロースタータ型は製造者に間引き相談）	<input type="checkbox"/>
	間引き蛍光灯器具・箇所の選定 （多灯器具は、2灯ずつセットで間引き）	<input type="checkbox"/>
	間引きの実施（必ず、消灯してから行う） ※カバー付き器具のカバーの着脱方法や脚立等の使用方法を適宜確認	<input type="checkbox"/>
照明の間引き対策の完了⇒実施前の1/2の明るさを目指しましょう！ 対策の実施前後に実際に照度測定を行い、明るさの違いを認識しましょう。		
注）間引きで外した蛍光灯は、他の蛍光灯の球切れの際に再度取り付けて使用できます。 万一、破損した場合、有害な水銀が飛散する恐れがありますので、保管には十分注意しましょう。		

空調の対策の実施方法		チェック欄
温度設定の管理	温度調節器（リモコン）の操作責任者を選定	<input type="checkbox"/>
	空調機の運転開始、停止時間を設定・表示	<input type="checkbox"/>
	空調機の設定温度の表示（併せて節電の呼び掛け）	<input type="checkbox"/>
	温度調節器（リモコン）への操作禁止措置の実施	<input type="checkbox"/>
ドア・窓閉め徹底	空調時の冷気漏えい個所の（ドア・窓等の閉切り）確認・防止	<input type="checkbox"/>

さらに

国や業界団体の節電対策メニューや「地球温暖化対策報告書制度」の地球温暖化対策メニューも参考にして、事業所の特性に応じた節電対策を追求し、実施しましょう。